

第六十二回帝國議會 衆議院

市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ特例ニ關スル法律案委員會會議錄(速)第一回

付託議案

市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ特例ニ關スル法律案(政府提出)

委員會成立

本委員ハ昭和七年六月四日土曜日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

- 中島 守利君 中野勇治郎君
三上 英雄君 牧野 賤男君
坂本 一角君 安藤 正純君
谷原 公君 山橋 儀重君
中山福 藏君

同月六日(月曜日)午前十時五十三分委員長理事互選ノ爲委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

- 中島 守利君 中野勇治郎君
三上 英雄君 牧野 賤男君
安藤 正純君 谷原 公君
山橋 儀重君 中山 福藏君

年長者中島守利君投票管理者ト爲ル

○中島投票管理者 先例ニ依リマシテ、私ガ年長者デアリマシテ、投票管理者ニナリマス、是ヨリ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒマス

○山橋委員 投票ノ煩ヲ省イテ委員長ハ中島守利君ニ御願ヒシ、理事ハ新タニ選任セラレタ委員長ヨリ指名セラルルヤウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

〔賛成〕「賛成」ト呼ブ者アリ

○中島投票管理者 山橋君ノ御意見ニ

御異議ハアリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○中島投票管理者 御異議ナイト認メマス——ソレデハ甚ダ不肖デアリマス

ルガ、私ガ委員長ニ當選致シマシテ御受ケ致シマス——引續イテ理事ノ互選ヲ行ヒマスノデアリマスガ、只今山橋君ヨリ委員長ノ指名ニ一任致シタイト云フ御意見ガアリマシタガ、之ニ御異議ハアリマセヌデスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○中島委員長 ソレデハ指名致シマス坂本一角君 谷原公君ヲ指名致シマス

會議

昭和七年六月六日(月曜日)午前十時五十五分開議 出席委員左ノ如シ

委員長 中島 守利君

理事 谷原 公君

中野勇治郎君 三上 英雄君

牧野 賤男君 安藤 正純君

山橋 儀重君 中山 福藏君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 鳩山一郎君

出席政府委員左ノ如シ

文部政務次官 東郷 實君

文部省普通學務局長 武部 欽一君

内務省地方局長 安井 英二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ特別ニ關スル法律案(政府提出) ○中島委員長 是ヨリ引續イテ會議ヲ開キタイト思ヒマスルガ、別ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○山橋委員 引續キ審議ヲスルコトニハ異議ハナイノデアリマスガ、私ハ本日ノ此審議ハ、質疑ノ程度ニ止メテ置

イテ、討論ニ入ラナイト云フコトニシテ、審議ヲ進メルコトニ賛成致シタイト

〔賛成〕ト呼ブ者アリ

○中島委員長 山橋君ノ御意見ニ反對モナイヤウデゴザイマスカラ左様ニ決定致シマス——ソレデハ山橋君

○山橋委員 提案理由ノ説明ガアルノデハナイノデスカ

○鳩山國務大臣 提案理由ノ説明ガ必要デスカ、同ジャウナコトダカラ宜イト思ツタガ……

○中島委員長 ソレデハ文部大臣

○鳩山國務大臣 町村ヲ廢止シテ新ニ市ヲ置キ、又ハ近接町村ヲ市域ニ編入

スルヤウナ事例ガ近時増加シテ來テ居リマスガ、之ニ伴フ市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金ノ關係ヲ見マサルノニ、市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ後段ノ規定ニ依リマシテ町村ナルガ故ニ從來交付セラレテ居リマシタ國庫支出金ヲ、新ニ市ナリ又ハ市域編入トナリマシタ結果、是ガ交付ヲ受クルコトヲ得ザルコト、ナルノデアリマス、此減少額ニ對シマシテハ、別ニ填補財源ガアル場合ハ格別デアリマスルガ、結局ハ其住民ニ餘分ノ負擔ヲ課スルトカ、或ハ又教員ノ待遇ソレダケ低下セシムルトカ、或ハ又教育ノ施設ヲ一時手控スルトカノ方法ニ依リマシテ、財政上ノ辻褄ヲ合セルト云フコトニナラザルヲ得ヌノデアリマス、隨ッテ此新タナル市制施行、又ハ町村ノ市域編入ノ場合ニ於ケル義務教育費國庫下渡金ノ急激ナル減少ニ付テハ、市ノ教育上又ハ財政上ヨリ見テ適當ナ緩和策ヲ講ズルコトヲ要スル場合ガアルモノト考ヘマス、殊ニ本年十月一日ヨリ東京市ニ於キマシテハ、其近接セル八十二箇町村ヲ合併スルコトニナッテ居リマス關係モゴザイマスノデ、今回多數ノ町村ガ市ニ合併シタリ、又ハ町村ガ合シテ新ニ市制ヲ施行シタリ致シ

マシタ場合ニ於テ市町村義務教育費國庫交付金ニ著シキ減少ヲ生ゼシメナイヤウニ、一定ノ期間ヲ限リ、負擔法第三條後段ニ依ル國庫交付金ノ全部又ハ一部ヲ交付スルコトニ致シタイト思ヒマシテ、此機會ニ本案ヲ提出致シマシタ所以デアリマス、何卒本案通リ御決定アランコトヲ望ミマス

ネニ對シテ御答申上ゲタイト存ジマス、現行法ノ下ニ於テ計算ヲ致シマス、東京市ガ受ケマスル所ノ義務教育費國庫交付金ノ高ハ百七萬九千五百七十二圓餘デアリマス、是ハ現在ノ市ガ昭和七年度ニ於テ受ケタル國庫交付金デアリマス、而シテ十月一日ヨリ編入セラルベキ八十二箇町村、是ガ町村トシテ行キマスルナラバドレダケノ金額ヲ受ケルカト申シマス、國庫負擔法ノ第三條ノ前段ニ依リマシテ百六十四萬三千六百三十五圓餘ヲ受ケマス、又第三條ノ後段ニ依リマシテ、即チ山柘君ガ御承知ノ通り、町村ナルガ故ニ特ニ受ケマス所ノ金額ガ九十八萬三千三百六十二圓餘デアリマス、更ニ第五條ノ、即チ貧弱町村ト云フモノガ八十二箇町村ノ中ニアリマスガ、此受ケマス額ガ十萬四千二百七十七圓餘デアリマス、即チ昭和七年度ニ於キマシテ、八十二箇町村ガ受ケマスル所ノ國庫交付金ノ總額ガ二百七十二萬九千二百四十四圓餘ト相成ルノデアリマス、然ルニ此八十二箇町村ガ東京市ニ編入ニ相成リマスト云フ

テ御諒承願ヒマス  
○山柘委員 今度ノ東京市ノ財政計畫ノ中ニ、接續八十二箇町村ノ學級數ヲ増加シ、若クハ二部教授ヲ撤廢スルト云フヤウナ計畫ガ、財政計畫ノ中ニ這入ッテ居ルカドウカ  
○武部政府委員 東京市ノ當局者ニ就キマシテ、文部省ニ於テ調査致シマシタ所ニ依リマスレバ、只今山柘君ノ御尋ネノヤウナ計畫ヲ有ッテ居ルト云フ所ノ答ヲ得テ居リマス

ニナリマスルト、此社會生活、自治生活ニ必要ナル各般ノ仕事ガ統一シテ行フベキ筈デアルノニ、ソレガ出來ナイ多數ノ團體ニ分レテ區々マチ／＼ニナツテ居ル、其結果經費モ不合理ニナル、之ヲ合理的ニ、生カシテ使フト云フ爲ニハ、是ハ矢張り統一ヲシナケレバナラス、斯ウ云フ機運ガ前カラアツタノデアリマスルガ、今回其機ガ熟シテ、統一スルコトニ相成ツタノデアリマス、只今申上ゲマシタ様ナ次第デ、市域擴張ト云フコトハ、各般ノ社會生活ノ上ニサウシタ利益ガアルコト、存ジマス

○山柘委員 本案ハ東京市ノ接續町村編入ニ伴ッテ起ッタ問題デアルト思フノデアリマス、隨テ斯様ナ處置ヲ執ルガ宜シイカ否カト云フコトニ付テハ、東京市ガ接續町村ヲ編入シタ其種々ナル財政ノ問題ヲ考慮シタ上デタイト、私共ハ贊否ヲ決スルコトガ困難デアルト思ヒマス、隨テ私ハ内務省政府委員カラ之ニ關スル事情ヲ承リタイト思フノデアリマスカラ、内務省政府委員ノ出席ヲ委員長ヨリ求メラレタイト思フノデアリマス、内務省ノ政府委員ノ出席セラル、迄ノ間ニ、文部省ノ所管ニ關スルコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、接續町村ガ市ニ編入セラレタ爲ニ、同法第三條前段ノミニ依ッテ東京市ニ交付セラル、場合ノ金額ト、特別取扱ヒニ依ル場合トノ金額ノ相違ハドノ位デアルカ、即チ本法ニ依ッテ浮ビ上ル東京市ノ受クベキ金額ハ幾ラデアルカ之ヲ先ヅ承リタイト思ヒマス

マシタ所ノ第三條後段ニ依ル九十八萬三千三百六十二圓餘又第五條ニ依ル所謂貧弱町村ト云フ上ニ於テ十萬四千二百七十七萬餘、此合計百八萬五千五百七十九萬圓餘、是ダケガ今度東京市ニ編入スルト云フコトニ依リマシテ失フコトニ相成ルノデアリマス、大體之ヲ以テ御諒承願ヒマス

○山柘委員 東京市ガ建設スルト云フコトガ現在ノ東京市民ニモ、亦編入セラルベキ町村民ニモ利益デアルト云フコトカラ、此問題ガ起ッテ居ルニ相違ナイノデアリマス、デ其内務省ニ於テ認メラレタル利益ノ諸點ヲ伺ヒタイノデアリマス、説明ハ要リマセヌカラ條項ヲ簡單ニ舉ゲテ戴キタイ

○山柘委員 サウシマス、御趣旨ハ能ク分ッテ大概左様デアラウト思フノデアリマス、サウシテ其指令ガ發セラレテ居ルノデアリマスガ、其指令ニハ十月一日大東京市ガ實現スベキ爲ニ何等カノ條件ガ付シテアルノデアリマスガ、其大東京市ヲ認メラル、ニ付テハ、財政上ノコトヲ必ズヤ考慮セラレテアルニ相違ナイト思フ、其發セラレル指令條件ノ中ニ、此義務教育費ノ國庫負擔金ガ百萬圓與ヘラルベキモノデアルト云フコトヲ豫想シテ認可ヲシテ居ルノデアルカ否カト云フコトヲ承リタイ

○武部政府委員 只今ノ山柘君ノ御尋

○安井政府委員 只今御尋ニナリマシタ點ハ、是ハ御承知ノヤウニ東京市ニ於キマシテハ、接續町村ガ段々發達致シテ參リマシテ、今日ニ於テハ殆ド市ト其狀況ハ變ラナイ、言ヒ換ヘマスト行政上、社會上、其生活トシタモノガ殆ド一體ヲ成シテ居ル、然ルニ之ニ對シテ行政區域ガ變ッテ居ルト云フコト

○安井政府委員 此合併ニ付キマシテ色々各町村カラ希望條件ガ出テ居リマ

シテ行政區域ガ變ッテ居ルト云フコト

○武部政府委員 只今ノ山柘君ノ御尋

○安井政府委員 此合併ニ付キマシテ色々各町村カラ希望條件ガ出テ居リマ

シテ行政區域ガ變ッテ居ルト云フコト

シテ行政區域ガ變ッテ居ルト云フコト

スルガ、是ハ合併ガアリマシテカラ後ニ、市ノ當局ニ於テ適當ノ措置ヲ考フベキコトデアリマス、隨テ是ハ合併許可其ノモノト致シマシテハ、一々之ヲ許可ノ條件トシテハ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ一面財政上急激ナル負擔ノ變動ガアルト云フコトニ付テハ、相當考慮ヲ廻ラサナケレバナラス、併シ何ヲ措イテモ今日ノ情勢カラ行キマシテ、合併スルト云フコト、是ハ是非必

要デアアル、併ナガラ第二段ニ於テ合併ヲスルニシマシテモ、成ベク其影響ノ上ニ於テ非常ナル變動ヲナカラシメル様ニシナケレバナラスト云フコトハ、是亦必要ナコトデアアル、即チ第二段ニ於キマシテ最モ考ヘナケレバナラスコトガ、先程御話ニナリマシタ負擔ノ變動ノ問題デアアルト云フコトニナルノデアリマス、而シテ其負擔ノ變動ノ中デ最モ重要ナ問題ハ、義務教育費ノ國庫補助ノ問題デアリマス、是ハ今日合併ニナリマシテモ、直チニ社會、狀態ガ變リ譯デナイノニ拘ラズ、唯合併ガアツタ爲ニ、補助額ガ非常ニ減額ヲ見ルト云フコトハ如何デアラウカ、是ハ相當期間緩和スル必要ガアルト云フ

ノデ、今回義務教育費國庫負擔法ニ對シテ特別法ヲ作ルト云フ提案ガ爲サレタノデアラウト存ジマスガ、是ハ合併ニ付キマシテハ重要ナル關係アルモノトシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

トシテ考ヘテ居リマスル次第デアリマス

云フ風ニ緩和サレルカト云フコトヲ調ベテ見マスルト、假ニ結果ダケヲ申上ゲマスルト、一戸當リノ舊市域ニ於キマシテ、増加スル額ガ三圓八十錢八厘ニ減ズルノデアリマス、而シテ五郡ノ方ニ於キマシテハ、五圓二十四錢四厘ノ減額トナリマス、之ヲ言ヒ換ヘマスルト、此法案ガ通過致シマスレバ、舊市域ニ於テハ負擔ノ増加ガ一圓四十三錢ダケ減ルノデアリマス、而シテ五郡ノ方ニ於テハ更ニ六十一錢七厘ヲ減額スルコト、ナルノデアリマス

情ニ相成ルト思フノデスガ、左様ニ諒解シテ宜シイノデアリマス  
○武部政府委員 今回文部省ニ於テ此案ヲ提出致シマスル所以ハ、急激ナル變化ヲ財政負擔ノ上ニ於テ生ズルコトヲ出來ルダケ避ケナケレバナラズ、又延テハ教育上ニ影響ヲ及ボシテハナラナイト云フ點デアリマス、先刻文部大臣ヨリ本案提出ノ理由ニ付テ、教育上並ニ財政上ニ支障ヲ生ゼシメルヤウナコトニ付テハ緩和ノ策ヲ執ラナケレバナラナイト云フ趣旨ノ御説明モアッタナラナイト云フ趣旨ヲ御説明モアッタ

極端ナ場合ヲ考ヘマシテ、東京市ガ現在受ケテ居ル以上ニ下渡金額ガ減ズルコトニナリ、或ハソレガ爲ニ教員給ノ減額マデ起ツテ來ルト云フコトニナリマス、是ハ教育上洵ニ考ヘナケレバナラヌノデ、サウ云フヤウナコトノ起ラナイヤウニ、十分教育上カラ考ヘテ、急激ナ變化ノ生ジナイヤウニ處置致シタイト云フノガ、文部省ノ主トシテ考ヘタ點デアリマス、而シテ其負擔ノ關係ガ如何ニ相成ルカト云フコトハ、文部省ヨリモ寧ろ内務省ノ方カラ御答辯ヲ願ツタ方ガ都合好クハナイカト思ヒマスカラ、文部省ト致セバ斯様ナコトニ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

益ヲ更ニ得ルモノハ舊市民デアル、是ハ内務省デ計算セラレ、バ、ハッキリ致スト思ヒマスガ、百八萬圓ノ交付金ガ與ヘラレルトシテ、ソレガ納稅ノ基礎カラ計算シテ、舊市民ガドレダケ負擔輕減ニナツテ、新市民ガドレダケ負擔輕減ニナルカト云フ計算ガ出來テ居ル、只今一戸當リノ計算ガアッタ、サウスルト舊市民ノ受ケル利益ガ相當多額デアルト思フ、其可否ヲ私ハ論ズルノデス、此百萬圓ノ交付金ニ依ツテ、舊市民ガ甚シク減額ヲ受ケルコトニナルノデハナイカ、元ノ町村民ノミナラバ、合併自體ニ依ツテ百二十萬圓ノ負擔輕減ニナツテ居ルカラ、此上負擔輕減ヲスル必要ガ何處ニアリマスカ、結局之ヲ以テ負擔ヲ輕減スル趣旨ノ舊市民ノ負擔輕減ニナラナイノデハナイカ、此負擔輕減ノ事實ヲ承リマス

○山柘委員

ソコデ文部省ノ關係ノ方カ、内務省ノ方ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、本案ガ通過シテ百八萬圓ノ金額ガ東京市ニ交付サレルト云フコトニナリマス

○山柘委員

今ノ武部君ノ御答辯ハ、チットモ私ノ質問ニ對スル答辯ニナツテ居ナイノデアリマシテ、一ツ内務省ノ方カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

ト、其爲ニ負擔ヲ輕減サルベキモノハ何人デアルカト申シマス、舊市民ガ大部分デアツテ、新市民ガ若干ノ恩典ヲ受ケル、而モ舊町村ガ市ニ編入セラレタ爲ニ、五郡ノ舊町村民ハ二百九十一萬六千圓ノ負擔輕減ニナツテ居ル、其上ニ更ニ此國庫負擔金ノ増額ニ依ツテ更ニ若干ノ負擔輕減ヲ行ハル、コトニ相成ルノデアリマス、即チ本法ヲ施行スルト云フコトハ、舊市民ノ負擔ヲ輕減シ、舊町村民ニハ合併ニ依ツテ負擔ノ輕減ヲ受ケタ上ニ、更ニ本法ニ依ツテ負擔ノ輕減ヲ重加サレル、斯ウ云フ内

ナラナイト云フ趣旨ノ御説明モアッタ通リデアリマシテ、若モ此合併ニ依ツテ百八萬餘圓ト云フ國庫下渡金ガ新ナル東京市民ニ下グラレルコトガ全然ナクナルト云フ場合ヲ想像スルト、是ガ他ニ相當ナ補填ノ財源ガアレバ格別デアリマスケレドモ、合併サレタ町村ニ於テハ、先刻山柘君ノ御尋ニモアリマシタ通りニ、二部教授ナドモ隨分行ツテ居リマス、サウ云フヤウナコトヲ考ヘマス、將來ハ成ベクサウ云フヤウナコトノナイヤウニ教育ノ改良モ致シテ行カナケレバナラナイ、又現在教育上施設スベキコトハ隨分澤山アル、將來ニ於テハ色々教育上ノ改善モ圖ラナケレバナラヌト云フノニ、下渡金ガ非常ニ減ズルコトニナリマスレバ、サウ云フコトノ將來ノ上ニモ支障ヲ生ズル場合ナシトハ言フ譯ニ行カナイ、又之ヲ

現在町村民ノ負擔ハ、總額ニ於テ二百九十一萬六千圓減額ニナリ、一戸當リ四圓何ボノ負擔輕減ニナルノデス、隨テ此國庫負擔金ガ百萬圓市ニ交付セラレルト云フコトニナルト、町村民ハ更ニ五圓二十四錢輕減ニナリ、一層負擔ガ輕減サレ、元ノ町村民ハ合併其モノニ依ツテ甚シキ負擔輕減ニナツテ居ル上ニ、更ニ本法ニ依ツテ二重ノ負擔輕減ニナルト云フ事實ニナラウト思フ、而シテ此百萬圓ノ交付金ニ依ツテ實ハ利

○安井政府委員 御話ノヤウニ、舊五郡ノ方ハ負擔輕減ニナルノデアリマス、併ナガラ同時ニ此計算ト云フモノハ現狀ノ昭和七年度ノ豫算ニ基キマシテ、境界變更ニ基ク法令上ノ當然増減アルモノダケヲ見テ計算致シタノデアリマス、併ナガラ合併後ニ於テハ、相當新シイ大東京市トシマシテハ色々仕事ヲシナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ仕事ヲ致シマスル場合ニ於テノ増額セラレベキ關係ハ全然見テ居リマセ

合ナシトハ言フ譯ニ行カナイ、又之ヲ

シテ此百萬圓ノ交付金ニ依ツテ實ハ利

額セラレベキ關係ハ全然見テ居リマセ

額セラレベキ關係ハ全然見テ居リマセ

スノデアリマスカラ、恐ラク斯様ニ申イ、唯現東京市民ニ對シテ急激ナル負擔ニナルカラ、ソレヲ緩和スル爲ニ本法ヲ出ス御趣旨デアラウト思フ、左様ナリヤ否ヤ、其點ヲ御答願レバ宜シイマス

○安井政府委員 御話ノヤウニ舊市部ニ於キマスル市民ニ對シマシテ急激ニ非常ナ負擔ノ増加ヲ來スト云フコトハ望マシクナイト云フノデ、ソレヲ成ベク緩和スル必要ガアル、斯様ニ思ヒマシテ、其町村ノ割合ニ於テ之ヲ交付シヤウ、斯ウ云フコトデス、而カモ其金ノ恩惠ヲ受ケルモノハ誰デアアルカト云フト町村民ニアラズシテ市民ナンドス、斯ウ云フ胡魔化シノ法律ニ相成ルデアラウト私ハ思フノデアリマス、之ニ關スル所見ヲ御伺シタイノデアリマ

○武部政府委員 今山柁君ガ御述ベニナルヤウナ胡魔化シト云フ意味ハ毫モゴザイマセスガ、法律ノ第三條ヲ適用致シマスト云フト、新タニ市ニ編入サレマシタ所ノ所謂町村ハ、町村デハナクナリマシテ市トナルノデアリマスガ、其結果今迄ノ状態、即チ社會的狀態ナドニ何等變化ガアリマセスニ拘ラズ、其地域ニ於テ受ケテ居ル所ノ者ガ一時ニソレガナクナルト云フコトハ寔ニ急激ナル變化ヲ生ズルヤウナ次第デアリマス、而カモ是ガ僅カナ金額デア

當ナル遺線リガ無論出來ベキコト思フノデアリマス、從來モ市ガ周圍ノ町村ヲ併合シタ所ノ實例ガ御承知ノヤウニ多クアリマス、併ナガラソレ等ノ場合ヲ考ヘテ見マスト、斯ノ如ク百萬圓内外、先ヅ東京市デ申シマスレバ百萬圓以上デアリマスガ、ソレダケノモノヲ失フト云フヤウナ例ハ、今迄全然ナカッタノデアリマス、六大都市ガ大キイモノト致シマシテ、是迄ノ例ヲ見マシテモ、京都ガ伏見外二十六箇町村ヲ併合致シマシタケレドモ、其併合ノ爲ニ失フ所ノ金額ハ五萬四千餘圓ニ過ギナカッタノデアリマス、又神戸市ハ是ハ小サイノデアリマスケレドモ、昭和四年二箇町村ヲ併合シタガ、一萬七千圓、ソレカラ横濱ガ周圍九箇町村ヲ編入致シマシテ、其時モ其金額ハ二萬五千圓、大阪ガ四十三箇町村ヲ編入致シマシタケレドモ、是モ十萬圓位ノ金額ニ過ギナカッタノデアリマス、然ルニ今回ノ東京市隣接八十二箇町村ニハ、先刻申シマシタ通り百八萬餘圓ト云フ金額ニ相成ルノデアリマシテ、即チ從來、都市ガ周圍ノ町村ヲ併合致シマシタケレドモ、其例ニ比較致シマスト云フト、殆ドドウモ桁ガ違ッテ居ルノデアリマス、殆ド其金額ノ間ニハ是ガ非常ニ影響スル所ガ大キイト云フ關係カラ今度ノ法律ヲ出シタノデアリマスル

トモ亦考慮ニ入レナケレバナラヌコトデハナイカト思フ、然ルニ舊市部ニ於キマシテハ、非常ニ負擔ガ増ス、ソレヲ出來ルダケ緩和シヨウ、此約百萬圓バカリノ國庫下渡金ガ從前通り交付セラレルモノトシマシテモ、相當マダ負擔ハ増スノデアリマスカラ、ソレデ少クトモ百萬圓前後ノモノダケハ是非之ヲ從前通り交付スルコトニ致シマシテ、出來ルダケ緩和ノ途ヲ講ズルコトガ必要デアアル、急激ナル變動ヲ生ゼシメナイコトガ必要デアアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山柁委員 負擔ノ急激ナル變化ヲ生ゼシメナイ目的デアルト云フコト、其必要モ事實能ク分ッテ居ル、其急激ナル負擔ノ變化ヲ負ハシメナイト云フコトハ、現町村民ニ對スル問題デハナク、現東京市民ニ對スル問題デアルト私ハ考ヘル、現町村民ハ負擔ハ減ジテ居ルノデアリマスカラ、急激ナル變化ハイケナイ、負擔ヲモウ少シ重クシヨウト云フ御議論ナラバ私ノ答辯ニナルケレドモ、町村民ノ負擔ヲ更ニ減ジヨウト云フノデアリマスレバ答辯ニナラナ

○山柁委員 ソレハ現町村民ノ負擔ガ相當ニ増加シテモ、ソレハ自分自ラヤレバ相當負擔ガ現在以上ニ増加スルカラ、東京市ニ編入セラレ、バ安クテ文

○山柁委員 御話ノヤウニ舊市部ニ於キマスル市民ニ對シマシテ急激ニ非常ナ負擔ノ増加ヲ來スト云フコトハ望マシクナイト云フノデ、ソレヲ成ベク緩和スル必要ガアル、斯様ニ思ヒマシテ、其町村ノ割合ニ於テ之ヲ交付シヤウ、斯ウ云フコトデス、而カモ其金ノ恩惠ヲ受ケルモノハ誰デアアルカト云フト町村民ニアラズシテ市民ナンドス、斯ウ云フ胡魔化シノ法律ニ相成ルデアラウト私ハ思フノデアリマス、之ニ關スル所見ヲ御伺シタイノデアリマ

○武部政府委員 今山柁君ガ御述ベニナルヤウナ胡魔化シト云フ意味ハ毫モゴザイマセスガ、法律ノ第三條ヲ適用致シマスト云フト、新タニ市ニ編入サレマシタ所ノ所謂町村ハ、町村デハナクナリマシテ市トナルノデアリマスガ、其結果今迄ノ状態、即チ社會的狀態ナドニ何等變化ガアリマセスニ拘ラズ、其地域ニ於テ受ケテ居ル所ノ者ガ一時ニソレガナクナルト云フコトハ寔ニ急激ナル變化ヲ生ズルヤウナ次第デアリマス、而カモ是ガ僅カナ金額デア

○山柁委員 負擔ノ急激ナル變化ヲ生ゼシメナイ目的デアルト云フコト、其必要モ事實能ク分ッテ居ル、其急激ナル負擔ノ變化ヲ負ハシメナイト云フコトハ、現町村民ニ對スル問題デハナク、現東京市民ニ對スル問題デアルト私ハ考ヘル、現町村民ハ負擔ハ減ジテ居ルノデアリマスカラ、急激ナル變化ハイケナイ、負擔ヲモウ少シ重クシヨウト云フ御議論ナラバ私ノ答辯ニナルケレドモ、町村民ノ負擔ヲ更ニ減ジヨウト云フノデアリマスレバ答辯ニナラナ

○山柁委員 ソレハ現町村民ノ負擔ガ相當ニ増加シテモ、ソレハ自分自ラヤレバ相當負擔ガ現在以上ニ増加スルカラ、東京市ニ編入セラレ、バ安クテ文

○山柁委員 御話ノヤウニ舊市部ニ於キマスル市民ニ對シマシテ急激ニ非常ナ負擔ノ増加ヲ來スト云フコトハ望マシクナイト云フノデ、ソレヲ成ベク緩和スル必要ガアル、斯様ニ思ヒマシテ、其町村ノ割合ニ於テ之ヲ交付シヤウ、斯ウ云フコトデス、而カモ其金ノ恩惠ヲ受ケルモノハ誰デアアルカト云フト町村民ニアラズシテ市民ナンドス、斯ウ云フ胡魔化シノ法律ニ相成ルデアラウト私ハ思フノデアリマス、之ニ關スル所見ヲ御伺シタイノデアリマ

○武部政府委員 今山柁君ガ御述ベニナルヤウナ胡魔化シト云フ意味ハ毫モゴザイマセスガ、法律ノ第三條ヲ適用致シマスト云フト、新タニ市ニ編入サレマシタ所ノ所謂町村ハ、町村デハナクナリマシテ市トナルノデアリマスガ、其結果今迄ノ状態、即チ社會的狀態ナドニ何等變化ガアリマセスニ拘ラズ、其地域ニ於テ受ケテ居ル所ノ者ガ一時ニソレガナクナルト云フコトハ寔ニ急激ナル變化ヲ生ズルヤウナ次第デアリマス、而カモ是ガ僅カナ金額デア

○山柁委員 負擔ノ急激ナル變化ヲ生ゼシメナイ目的デアルト云フコト、其必要モ事實能ク分ッテ居ル、其急激ナル負擔ノ變化ヲ負ハシメナイト云フコトハ、現町村民ニ對スル問題デハナク、現東京市民ニ對スル問題デアルト私ハ考ヘル、現町村民ハ負擔ハ減ジテ居ルノデアリマスカラ、急激ナル變化ハイケナイ、負擔ヲモウ少シ重クシヨウト云フ御議論ナラバ私ノ答辯ニナルケレドモ、町村民ノ負擔ヲ更ニ減ジヨウト云フノデアリマスレバ答辯ニナラナ

○山柁委員 ソレハ現町村民ノ負擔ガ相當ニ増加シテモ、ソレハ自分自ラヤレバ相當負擔ガ現在以上ニ増加スルカラ、東京市ニ編入セラレ、バ安クテ文

○山柁委員 御話ノヤウニ舊市部ニ於キマスル市民ニ對シマシテ急激ニ非常ナ負擔ノ増加ヲ來スト云フコトハ望マシクナイト云フノデ、ソレヲ成ベク緩和スル必要ガアル、斯様ニ思ヒマシテ、其町村ノ割合ニ於テ之ヲ交付シヤウ、斯ウ云フコトデス、而カモ其金ノ恩惠ヲ受ケルモノハ誰デアアルカト云フト町村民ニアラズシテ市民ナンドス、斯ウ云フ胡魔化シノ法律ニ相成ルデアラウト私ハ思フノデアリマス、之ニ關スル所見ヲ御伺シタイノデアリマ

○武部政府委員 今山柁君ガ御述ベニナルヤウナ胡魔化シト云フ意味ハ毫モゴザイマセスガ、法律ノ第三條ヲ適用致シマスト云フト、新タニ市ニ編入サレマシタ所ノ所謂町村ハ、町村デハナクナリマシテ市トナルノデアリマスガ、其結果今迄ノ状態、即チ社會的狀態ナドニ何等變化ガアリマセスニ拘ラズ、其地域ニ於テ受ケテ居ル所ノ者ガ一時ニソレガナクナルト云フコトハ寔ニ急激ナル變化ヲ生ズルヤウナ次第デアリマス、而カモ是ガ僅カナ金額デア

○山柁委員 負擔ノ急激ナル變化ヲ生ゼシメナイ目的デアルト云フコト、其必要モ事實能ク分ッテ居ル、其急激ナル負擔ノ變化ヲ負ハシメナイト云フコトハ、現町村民ニ對スル問題デハナク、現東京市民ニ對スル問題デアルト私ハ考ヘル、現町村民ハ負擔ハ減ジテ居ルノデアリマスカラ、急激ナル變化ハイケナイ、負擔ヲモウ少シ重クシヨウト云フ御議論ナラバ私ノ答辯ニナルケレドモ、町村民ノ負擔ヲ更ニ減ジヨウト云フノデアリマスレバ答辯ニナラナ

○山柁委員 ソレハ現町村民ノ負擔ガ相當ニ増加シテモ、ソレハ自分自ラヤレバ相當負擔ガ現在以上ニ増加スルカラ、東京市ニ編入セラレ、バ安クテ文

○山柁委員 御話ノヤウニ舊市部ニ於キマスル市民ニ對シマシテ急激ニ非常ナ負擔ノ増加ヲ來スト云フコトハ望マシクナイト云フノデ、ソレヲ成ベク緩和スル必要ガアル、斯様ニ思ヒマシテ、其町村ノ割合ニ於テ之ヲ交付シヤウ、斯ウ云フコトデス、而カモ其金ノ恩惠ヲ受ケルモノハ誰デアアルカト云フト町村民ニアラズシテ市民ナンドス、斯ウ云フ胡魔化シノ法律ニ相成ルデアラウト私ハ思フノデアリマス、之ニ關スル所見ヲ御伺シタイノデアリマ

○武部政府委員 今山柁君ガ御述ベニナルヤウナ胡魔化シト云フ意味ハ毫モゴザイマセスガ、法律ノ第三條ヲ適用致シマスト云フト、新タニ市ニ編入サレマシタ所ノ所謂町村ハ、町村デハナクナリマシテ市トナルノデアリマスガ、其結果今迄ノ状態、即チ社會的狀態ナドニ何等變化ガアリマセスニ拘ラズ、其地域ニ於テ受ケテ居ル所ノ者ガ一時ニソレガナクナルト云フコトハ寔ニ急激ナル變化ヲ生ズルヤウナ次第デアリマス、而カモ是ガ僅カナ金額デア

○山柁委員 負擔ノ急激ナル變化ヲ生ゼシメナイ目的デアルト云フコト、其必要モ事實能ク分ッテ居ル、其急激ナル負擔ノ變化ヲ負ハシメナイト云フコトハ、現町村民ニ對スル問題デハナク、現東京市民ニ對スル問題デアルト私ハ考ヘル、現町村民ハ負擔ハ減ジテ居ルノデアリマスカラ、急激ナル變化ハイケナイ、負擔ヲモウ少シ重クシヨウト云フ御議論ナラバ私ノ答辯ニナルケレドモ、町村民ノ負擔ヲ更ニ減ジヨウト云フノデアリマスレバ答辯ニナラナ

○山柁委員 ソレハ現町村民ノ負擔ガ相當ニ増加シテモ、ソレハ自分自ラヤレバ相當負擔ガ現在以上ニ増加スルカラ、東京市ニ編入セラレ、バ安クテ文

○山柁委員 御話ノヤウニ舊市部ニ於キマスル市民ニ對シマシテ急激ニ非常ナ負擔ノ増加ヲ來スト云フコトハ望マシクナイト云フノデ、ソレヲ成ベク緩和スル必要ガアル、斯様ニ思ヒマシテ、其町村ノ割合ニ於テ之ヲ交付シヤウ、斯ウ云フコトデス、而カモ其金ノ恩惠ヲ受ケルモノハ誰デアアルカト云フト町村民ニアラズシテ市民ナンドス、斯ウ云フ胡魔化シノ法律ニ相成ルデアラウト私ハ思フノデアリマス、之ニ關スル所見ヲ御伺シタイノデアリマ

○武部政府委員 今山柁君ガ御述ベニナルヤウナ胡魔化シト云フ意味ハ毫モゴザイマセスガ、法律ノ第三條ヲ適用致シマスト云フト、新タニ市ニ編入サレマシタ所ノ所謂町村ハ、町村デハナクナリマシテ市トナルノデアリマスガ、其結果今迄ノ状態、即チ社會的狀態ナドニ何等變化ガアリマセスニ拘ラズ、其地域ニ於テ受ケテ居ル所ノ者ガ一時ニソレガナクナルト云フコトハ寔ニ急激ナル變化ヲ生ズルヤウナ次第デアリマス、而カモ是ガ僅カナ金額デア

ガ、併ナガラ是モ法律ヲ御覽下サイマシテ御承知デアリマスル通りニ、永久ニ左様ニ出サウト云フコトデハゴザイマセズ、期間ヲ定メテ、即チ其周圍編入町村ヲ町村ト看做シテ行カウト云フノデアリマス、而モ亦文部省ハ只今考ヘテ居リマスルノハ、其町村ト認メテ交付致シマスニ付キマシテモ、其或ル期間内ニ於テソレヲ漸減シテ行キタイ、斯様ナ方針ヲ執リタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、全然從來ト同一ノ平均ニ與ヘルト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマセスカラ、ソレ等ハドウカ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

**○山柘委員** 答辯ガ私ノ質問ニチヨットモ當ッテ居ナイノデス、私ノ言ッテ居ルノハ、町村民ガ市民ニナルノデス、ソコデ町村ノ名前ニ依ッテ交付シヨウト云フノデス、サウシタラ其元ノ町村民ガソレノ急激ナル變化ニ依ッテ損害ヲ被ルカラ、ソレヲ緩和シヨウト云フノナラバ、既ニ町村民デナイケレドモ、町村ナル名義ヲ用ヒテ交付スルト云フコトモ一ツノ便宜法デアラウト考ヘラレル、然ルニ先程來質問應答ニ依ッテ明白ニナッタ如ク、此交付セントスル金ノ目的ハ、町村民ノ負擔ノ困難ヲ緩和セントスル目的ニ非ズシテ現在ノ市民、丸デ是迄交付ヲ受ケテ居ッタト違ッタ所

依リ當該市ニ對シ云々」トアルノデアリマシテ、市ガ財政上其他ノ事由ニ依ッテ多額ノ交付金ヲ必要トスルト云フコトデアアルナラバ、ソレハ第四條ニ特例ヲ設ケレバ宜イ、但シ第四條ニハ其金額ガ第三條前段デ市ガ受クル總金額ノ十五分の一ヲ越エルコトヲ得ズト云フコトナリマシテ、金額ノ制限ガアリマスカラ、東京市ニ百萬圓ヲ交付スルコトハ困難デアルト思ヒマス、ソコニ特例ヲ設ケテ行ッテ、東京市ニ交付スルト云フコトニ爲セバ、名實相伴ッテ、法律ノ文面ト、サウシテ交付スル實質ノ精神トガ一致スルノデアツテ、今ノヤウニ町村ノ名義ヲ用ヒテ胡麻化ス必要ハナイト思フ、政府ノ御意見ヲ伺ヒタイ

**○武部政府委員** 此第四條ハ、山柘君モ能ク御存知ノ通り資力薄弱ト云フヤウナコトヲ主トシテ考ヘタ條文デアリマシテ、殆ド此編入ト云フヤウナ場合ノコトハ、從來殆ド豫想ヲ致シテ設ケタ規定デハナイノデアリマス、左様ナ關係カラ致シマシテ、此今回ノヤウナ場合ニ付キマシテハ、第四條ノ例外ヲ設ケマスルヨリモ、別ニ別段ノ規定ヲ致シマシタ方ガ適當デアアル、斯様ニ考ヘテ此法案ヲ提出致シタ次第デアリマス

**○山柘委員** 第四條ニハ「資力其ノ他ノ事情ニ依リ」トアツテ資力ノミデハナイ、其他ノ事情デモ宜シイ、又先程ノ内務省ノ政府委員ノ御答辯ニ依リマス、東京市ハ急激ノ變化ヲ受ケテ、サウシテ辻褄ヲ合セルコトモ出來ルノデアラウガ、負擔上困ルト云フノデアリマスカラ、是モ資力ニ關係スルコトデアリマス、而モ永久デハナイノデアツテ、一定ノ期間ダケ之ヲ交付スルノデアリマスカラ、現ニ今日特別市若クハ特別町村トシテ交付シテ居ル場合ニハ、或ハ村ニ洪水ガアツタトカ、或ハ火事カアツタトカ、サウ云フ特別ナ變化ニ依ッテ起ッタ事情ガアル場合ニ、其翌年ニ限り、或ハ翌々年引續イテ交付金ヲ交付スル場合ガアルノデアツテ、特別ノ事情ガ起ッタ場合ニ於テ市ニ於テハ第四條、町村ニ於テハ第五條ヲ適用致シテ居ルノデアツテ、此適用ニ依ッテ交付スルノガ當然デアルト考ヘルノガ至當デアラウト思フノデアリマス、何故ニ町村ナント云フヤウナ、無クナッテシマッタ名義ヲ捉ヘテ來テ、其名義デ、而モ其元ノ町村民ガ利益ヲ受ケルコトハソレガ主タル利益ヲ受ケルナラバ、法律上便宜デアアルカモ知レマセズケレドモ、而モ主タル利益ヲ與ヘヨウト云フ目的ハ、町村民ニアラズシテ市民デアアル、然ルニ町村ノ名義ヲ用ユルト云フコトハ甚ダ論理上困ル、是ハ明

ニ胡麻化サウト云フコトニ他ナラス、是ノ便宜上ノ御説明デナク、論理上ノ御説明ヲ願ヒタイ

○武部政府委員 此特別市デ交付致シマスル金ガ、非常ニ山橋君モ御承知ノ通り少ウゴザイマス、從ヒマシテ其中デ以テ之ヲ東京市ナドヲ賄フト云フコトハ、是ハチヨット出來兼ルコトデアリマスカラ、而モ是ハ漸減的ニヤルト云フコトノ考ヲ以テ出シテ居リマス、ソレデ此特別ノ規定ヲ設ケタ次第デアリマス

○山橋委員 ソレダカラ私ハ先程申シテ居ルノデアリマシテ、第四條ニハ其金額ガ第三條前段ニ依ッテ交付セラレベキ金額ノ十五分ノ一ニ限定シテアルカラ、東京市ニ百萬圓ヲ交付スルコトハ他ノ特別市ニ交付スベキ金額ヲ少クスルコトニナッテ困ラウカラ、茲ニ別段ノ規定ヲ設ケテ行ケバソレデ宜イデハナイカ、サウ云フ特別ノ規定ヲ設ケルノガ此際至當デハナイカ、精神トサウシテ名義トガ一致スルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ主張致シテ居ルノデアリマス、ソレニ對シテ政府ハドウ云フ風ニ之ヲ御攻究ニナッタカテ承リタイ、或ハ私ノ考ガ間違ッテ居ルノカモ知レマセスガ、政府ガ御攻究ニナッタ結果カ、ソレヲ御攻究ニナッタカ否カ一應承リタイト思フノデス

○武部政府委員 今ノ特別市ノ規定ハ、市ノ資力ノコトヲ非常ニ考ヘテ、サウシテ從來カラ存在シテ居ル規定デアリマスルケレドモ、是ハ合併ノヤウナ場合ヲ、先刻申上ゲタ通りニ其條文デハ殆ド豫想シテ居ナカッタ規定デアリマス、今回ノハ全ク合併ノ場合、所謂市町村廢置分合、又ハ境界變更ノ場合ノミヲ豫想致シマシテ、其場合ニ處スル規定デアリマスカラ、隨ヒマシテ是ハ別個ノ法律ニシタ方が適當ト、實ハ斯様ニ認メテ居ル次第デアリマス

○山橋委員 第三條ノ規定モ、町村合併ニ依ッテ斯様ナ財政上ノ變革ガ起ラウト云フコトヲ豫想シテ居ナカッタコトハ第四條ト同様デアアル、故ニ第三條ニ別段ノ規定ヲ設ケル必要ガ起ッタ、而シテ第四條ノ條文ニ無論サウ云フコトハ豫想シテ居ナカッタと思フガ、サウ云フ豫想スベカラザル色々ナ必要ノ事情ニ應ジ得ル爲ニ「其他ノ事情ニ依リ」ト云フ文章ガアルノデアリマスカラ、之ヲ包含シテ少シモ差支ナイ、而モ金額其他ニ於テ困ル點ガアリマスルナレバ、ソコニ別段ノ規定ヲ設ケテ行ケバ宜シイノデアアッテ、第四條ハ豫想シナカッタ、第三條ハ豫想シテ居タノデアカッタ、斯ウ云フコトヲ言ハナケレバナラ

ス、今ノ御議論ナラバ其論法ハ成立タナイノデアリマス、今ノ論法デ行ケバ、

ヤハリ三條ニモ斯ウ云フ合併ニ依ッテ急激ナル變化ヲ來スト云フコトハ豫想シテナイ、故ニ特別法ヲ設ケル、故ニ第四條ニモ特別法ヲ設ケテ行ケバ少シモ差支ナイ、今ノ論理ノ根據ハ成立シナイト思ヒマス

○鳩山國務大臣 私カラ御答シテ置キマス、是ハ全ク法ノ擬制デ、唯、便宜的ニ一時ノ便法ヲ拵ヘタノデアリマシテ、質問者ノ仰シヤル通りニ、理論カラ申シマシタナラバアタノ仰シヤル通りダト思ヒマスケレドモ、其趣旨ハ今度ノ場合ニ於キマシテハ、編入セラレタル八十二箇町村ヲ舊町村ト法律ノ擬制ニ於テ看做シテ、元ト受ケタ其儘ノ金額ヲ、合併ヲ受ケタ所ノ編入ヲ受ケタ所ノ市ニ遣リタイト云フダケノ趣旨ダモノデスカラ、全クノ便法デアリマシテ、法ノ擬制デアアッテ、編入セラレタル所ノ八十二箇町村ヲ舊町村ト看做ス、サウシテ元ト貫ッダケヲ編入セラタル市ニ遣リタイ、其趣旨ダモノデスカラ、其法律ノ書方ハ或ハ三條ノ特例トシ、或ハ四條ノ特例トスルト云フヤウナ、色々ナ書方ガアリマセウケレドモ、其書方ハドウセ便宜ニ基イタ法律ノ擬制ダモノデスカラ、ソレハ三條ニシテモ四條ニシテモ一向差支ナイダラウト思ヒマス、三條ニシマシタノ

ハ、唯、編入セラレタル舊町村——今

度ハ市ニナッタモノヲ元通りニ見ル法律ノ擬制デ以テ元通りニ見ルト云フヤウニシタ方がヨリ以上便宜ノ趣旨ヲ達成シ得ルモノデスカラ、便宜上カラ斯ウ書イタノデアリマシテ、理論上カラハアタノ仰シヤル通りカモ知レマセスガ、ドウセ便宜ニ基イタ一時的ノ法律ダモノデスカラ、便宜ノ趣旨ヲ一貫シテ、斯ウ云フ風ニシタノデアリマス

○山橋委員 今ノ大臣ノ御説明ハ、武部局長ノ御説明ヨリハ、趣旨ガ餘程明ニナッタと思フノデアリマスガ、ドウセ是ハ便宜ノ方法デアルト云フコトニ私モ能ク了解致シテ居リマス、ドウセ便宜ノ方法デアルトデアアルカラシテ、出來ルダケ理論ノ正シイ方ノ便宜ヲ採ッタ方が宜クハナイカ、斯ウ云フコトモ大臣ニ於テ考ヘラレル必要ガアルト思ヒマス、サウスレバ第四條ニ立派ニ色々ナ事情ニ依ッテ、或ハ當時的ニ、或ハ突發的ノ事情ニ依ッテ金ヲ交付スルコトノ出來ルヤウニチヤント法律ノ規定ガ設ケテアルノデアリマスルカラ、ソレヲ適用シテ行ク方が、是ハ本當ノ方法デハナイカト思フノデアリマスガ、大臣ノ御説明ダケデハマダハッキリ致シマセヌノデアリマス

○鳩山國務大臣 ソレハ其考ヘ方デ、山橋君ノ考ヘ方ト私共ノ考ヘ方ト、ソ

コハ違フト思フノデスガ、舊町村トシテ尙ホ存續スルモノト唯、見ル、其擬制ダケ行クモノデスカラ、斯ウ云フ場合ニ於テハ、第三條ヲ其儘ニ活カシテ置カウ。第三條ヲ活カスカ否カノ問題デアル、第三條ヲ今度ノヤウナ編入セラレタル場合ニ於テハ、一定ノ期間間、マダ活キテモノト見ヨウト云フダケデアルモノデスカラ、私共ハ此方ガ寧ロ適當ダラウト考ヘタノデアリマス、ソレヲ死シタモノトシテシマツテ、別ノ趣旨ニ基イテ特例ヲ設クル場合デアルナラバ、第四條ノ特例トシタ方ガ宜シイカモ知リマセスケレドモ、第三條ハ町村デナケレバ受ケルモノデハナイ、併ナガラ編入セラレタル場合ニ於テハ、尙ホソレヲ町村ト見做ス、此法律ノ擬制デ以テ、特例ヲ設ケタイトシタモノデスカラ、第三條ノ特例トシタノデアリマス、是ハマア意見ノ相違カモ知レマセヌガ、私ハ此方ガ適當ダラウト考ヘテ居リマス

ト減ジテ行ッテ——減ジ得ルナラバ減ジテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○山柁委員 減ジ得ルナラバ減ズト云フ御答デアルカラ、信頼シテモ宜イト思フノデアリマスガ、若シ是ガ十年ノ間減ラサナイコトニナルト假定シマス、サウスルト其間ニ先程私ガ承リマシタヤウニ、東京市ニナッタカラ二部教授ノ撤廢、學級數ノ増加ニ依ッテ教員數ガ増加スルニ相違ナイト考ヘマス、サウスルトソレダケハ配當金ガ多クナルト思ヒマス、多クナレバソレダケ全國ノ他ノ町村ノ金ヲ東京市ニ取込ム譯ニ相成ルノデアリマス、サウスルト此法律ヲ活カスコトハ、單ニ東京市ヲ今ハ現在ノ町村ガ其儘存續シテ居ルト假定スレバ、他ノ町村ニハ影響ガ無いノデアリマスケレドモ、若シ東京市ニ編入セラレテ、教育ノ改善ニ依ッテ教員數ガ増加シテ、配當ガ多クナルト云フコトニナルト、他町村ニ影響ヲ與ヘ

ル、其點ニ對スル政府ノ方針ヲ承リタ

○山柁委員 更ニ伺ヒタイデスガ、今度百萬圓東京市ニ此法律ニ依ッテ交付サレマス金額、此金額ハ第三條後段ニ依ルモノト見做スノデアリマス、隨ッテ第四條後段ノ「十五分ノ一」ト云フ金額ノ基本ニ加算セラレルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイ

○山柁委員 只今ノ所勅令デ以テ其期間ヲ定メマスガ、十年ト云フ考デアリマス、サウシテ其十年ノ間ニ段々

ト減ジテ行ッテ——減ジ得ルナラバ減ジテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○山柁委員 減ジ得ルナラバ減ズト云フ御答デアルカラ、信頼シテモ宜イト思フノデアリマスガ、若シ是ガ十年ノ間減ラサナイコトニナルト假定シマス、サウスルト其間ニ先程私ガ承リマシタヤウニ、東京市ニナッタカラ二部教授ノ撤廢、學級數ノ増加ニ依ッテ教員數ガ増加スルニ相違ナイト考ヘマス、サウスルトソレダケハ配當金ガ多クナルト思ヒマス、多クナレバソレダケ全國ノ他ノ町村ノ金ヲ東京市ニ取込ム譯ニ相成ルノデアリマス、サウスルト此法律ヲ活カスコトハ、單ニ東京市ヲ今ハ現在ノ町村ガ其儘存續シテ居ルト假定スレバ、他ノ町村ニハ影響ガ無いノデアリマスケレドモ、若シ東京市ニ編入セラレテ、教育ノ改善ニ依ッテ教員數ガ増加シテ、配當ガ多クナルト云フコトニナルト、他町村ニ影響ヲ與ヘ

ル、其點ニ對スル政府ノ方針ヲ承リタ

居リマス、只今御尋ノヤウナコトモ亦アリマスカラ、其處ニ段々周圍ノ町村ガ膨脹スルト人口ガ殖エ、兒童ガ殖エ

ル、教員ガ殖エテ行クト、ソレダケソレニ依ッテノ配當ガ殖エルコトニナリマス、ソコデ只今文部省トシテ考ヘテ居リマスノハ、年々此教員數、兒童數

テ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、即チ其基本タル教員數、兒童數ノ割合ヲ割引シテ、マアサウシテ計算ノ基礎ト致シテ行カウ、斯様ニシテ、サウシテ餘リ他ノ町村ヘハ影響ヲ及ボサナイヤウニシタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○山柁委員 サウスルトサウ云フ配當ノ特別規定ヲ何カ勅令カ何カデ設ケラレル豫定ニナッテ居リマスカ

○武部政府委員 ソレハ御手許ニアル法律ニ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」トナッテ居リマスガ、即チサウ云フコトヲ勅令デ定メタイト云フ考デ今居リマス

○山柁委員 更ニ伺ヒタイデスガ、今度百萬圓東京市ニ此法律ニ依ッテ交付サレマス金額、此金額ハ第三條後段ニ依ルモノト見做スノデアリマス、隨ッテ第四條後段ノ「十五分ノ一」ト云フ金額ノ基本ニ加算セラレルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイ

○武部政府委員 本年度ニ於テハ左様

ニナリマス

○山柁委員 只今年度ニ於テハト云フコトデアリマスガ、明年度以降約十年間交付セラレルノデスガ、其十年間、其金額ガ基本數ニ明年度カラ合算セラレルト云フコトニナルト、農村ノ方ノ大問題ニナルト思フ、重ネテ伺ヒタイ

○武部政府委員 明年度以降ニモ合算シマスルガ、即チ先刻申上ゲマシタ通りニ、教員數、兒童數ハ、ズツト割合ヲ減ジテ、即チ割引ヲシテ計算ヲシテ行ク、斯様ニ致シマス

○山柁委員 教員數、兒童數ノ増加割合ヲ減ゼラレテモ、現在東京市ニ第四條ノ規定ニ依ッテ特別金トシテ交付セラルベキ金額ハ、市ニ交付セラルベキ金額ノ十五分ノ一デアリマス、其基本金額ヲ如何ニ定メルカト云フコトデ



少クナル筈デアリマス、之ヲ加算セラ  
レルコトニナルト、町村が受クベキ金  
額ノ中カラ特別交付金ヲ市ノ方ニ取ル  
コトニナリマス、其點ニ對シテ伺フノ  
デス

○鳩山國務大臣 山橋君ノ質問ノ要  
點、憂ヘラルル所ハ、現在八十二箇町  
村以外ノ町村が受ケテ居ル所ノ義務教  
育費國庫補助金ガ減ゼラルルヤウナ事  
ガアルトイケナイト云フコトヲ虞レラ  
レテ居ルノデアリマセウガ、私ハ山橋  
君ノ質問ニ依ッテ、此百八萬圓ノ金額  
ガ殖エルコトアルベシト云フコトヲ知  
ツタノデス、デアリマスルカラ、サウ  
云フコトノ無イヤウニ、勅令ノ上ニ、  
他ノ町村ニ從來交付セル交付金ガ減額  
セラレルコトノ無イヤウナ明文ヲ、其  
點ニ付キマシテハ特ニ設ケルヤウニ致  
シマス、今一寸其勅令案ヲ見タノデス  
ガ、明白ニ書イテアリマセウカラ、ソ  
レヲ此中ニ書キマシテ、アナタノ憂ヘ  
ラレル點ヲ取除クコトニ致シマス

○山橋委員 今ノ御答ハ非常ニ満足ニ  
思フノデアリマスガ、今一ツハッキリ致  
シテ置キタイコトハ、若シ此特別法ガ  
ナクバ、而シテ東京市ニ編入セラルル  
トスルナラバ、百八萬圓ト云フ金額ハ  
他ノ町村ニ實ハ分配セラルベキ筈デア  
ルノデアリマス、結局、分配ガ多クナ  
ルベキ筈デアッタノデス、ソレハ他ノ町

村ハ、何等ノ事由ニ依ラズシテ、東京  
市ノ爲ニ自然ニサウ云フコトニナッ  
筈ナンデス、ソレヲ此法律ニ依リマシ  
テ、増加シナイノミナラズ、今度之ヲ  
元本ニ繰入レルコトニナルト、ソコニ  
ソレダケノ影響ヲ受ケルコトニナルノ  
デス、此金額ヲ此儘交付サレルト云フ  
コトハ、他ニ何等影響ガナイコトデア  
リマス、元々通りデアリマスカラ宜シ  
イゾ、是ガ特別配當ノ元本ニ繰入レラ  
レルト云フコトニナルト、十五分ノ一  
ダケ他ノ町村ガ少クナリマス、此點ハ  
左様ナコトニナラナイヤウニ、只今ノ  
文部大臣ノ御答辯ノ通り、勅令ノ方ヲ  
御改正アラシコトヲ希望致シマス

○鳩山國務大臣 承知致シマシタ  
○中島委員長 大體質問ハ終了シタヤ  
ウデアリマスカラ本日ハ是ニテ散會致  
シマス、次ノ委員會ハ明日ノ午後二時  
ニ開會致シマス  
午後零時五分散會

昭和七年六月六日印刷

昭和七年六月七日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所